



湘北短期大学図書館

としょかんNEWS

vol.136

2023.1.10 発行

湘北短期大学図書館には、学生のための資料として約8,000冊の絵本と約1,000点の紙芝居の所蔵があります。その他にも大型絵本、しかけ絵本、雑誌、エプロンシアターなど、とても充実しています。さらに、綺麗な状態の資料が取り揃っているのは、湘北図書館の特色です。この絵本や紙芝居を活用して、地域の子育て世代の親子に何か貢献したい！また、保育学科、生活プロデュース学科（子どもサービスコース）の学生にも、地域の親子と直接ふれあえる場にして欲しい！と願っています。そんな図書館の想いを受けとめていただき、今回、保育学科亀井美弥子教員と「地域子育て支援論」を受講している保育学科の学生が、親子向けのイベントを企画立案から、募集、準備、実演まで、図書館とコラボレーションしてくれました。その様子をお伝えいたします。



湘北短期大学図書館 × 「地域子育て支援論」特別企画

「親子で絵本を楽しもう」に決定・開催！

2022年12月3日（土）10:00～12:00

当日、参加してくれた親子は4組（おとな5名・乳幼児4名）。2時間という短い時間ですが、自由に楽しんでいただけるように学生が当日のメニューを決めました。乳幼児3名は0歳、1名は1歳です。どんな絵本やあそびを用意してくれたのでしょうか？

それぞれに準備開始！誘導・会場・おむつ替え・授乳スペース



担当ごとに準備。靴をぬいでくつろげるようにラグを敷き、テーブルも用意、手作りの風船トランポリン、おもちゃの準備も完了！今回はおむつ替えのスペース2つ、授乳スペース1つも簡易的に設置してくれました。乳幼児には必須スペースですね。

楽しいメニュー：絵本の紹介と読みきかせ・親子あそび・手あそび etc.



今回のメインはやはり“絵本”の読みきかせ！いろいろ考えて、選んでくれた絵本は、「よこむいてにこ」「こちょこちょさん」「あれあれだあれ」「だるまさんが」。“手あそび”やリズムにあわせて元気にからだを動かす“親子あそび”もご紹介。

参加するもしないも、あかちゃんはいつだって自由。フリータイムも楽しい！

学生が遊んでくれている時間は、ご家族も安心して、ちょっと一息つきますね。あかちゃんもお兄さん・お姉さんに興味津々のようです。





「絵本でもなんでも口にいれちゃって困っています」、「いろんな本を読んであげたいのに決まった本ばかりが好きで…」、「本好きの子どもに育てて欲しいのだけれど、どうしたら?」、「絵本をやぶいちゃったらどうすれば良いの?」、「そもそも、どんな絵本を選んであげたら良いの?」なんて、大人は子どもの絵本に関するお悩みをたくさんもっています。そんな大人のために、今回、特別メニューをご用意。永年、本学の保育学科で絵本の読み聞かせなど、学生の指導にあたっている實吉明子教員のミニ講座を開講し、みなさんからのご質問やお悩みにお答えいただきました。

2023年4月、は・じ・ま・る!



おやこ図書館



地域に開かれた図書館をめざして

地域の方々へ向けて、教育・研究の還元と子育て支援を目的に毎週土曜日は、親子で利用できる「おやこ図書館」として、湘北短期大学図書館の絵本コーナーを開放いたします。図書館は、学生のための資料として、乳幼児・未就学児対象の約 8,000 冊の絵本と約 1,000 点の紙芝居を所蔵しています。

親子で “ 絵本が紡ぐ幸せな時間 ” をお過ごしいただければ幸いです。

2023年4月開設予定

ご利用案内 (※予定)

開放日時：土曜日 9:00～13:00

開放場所：4号館 2階 図書館 (絵本コーナー)

対象：乳幼児・未就学児 (保護者同伴)

利用：資料の閲覧、館外貸出

貸出冊数：2冊

貸出期間：2週間

※ご利用の際は、事前のご予約が必要です

「絵本が紡ぐ幸せな時間」

保育学科 實吉明子

土曜のキャンパスは、いつも静かです。授業が無いからなのですが、それは図書館も同様で、学生の姿はまばら…。

でも、昨年12月3日はちょっと様子が異なりました。朝から澁刺とした学生達が校舎と図書館を歩き来して、準備を始めました。そこに地域の子育て家庭の皆さまが、絵本をキーワードに集い、おかげ様で暖かな活気あふれる図書館2階フロアでした。図書館スタッフもこぼれる笑顔でカメラを携え、保育学科の現役パパ・ママ教員も入れ替わり様子を眺めに登場し、とうに定年退職した私もミニ講座を担当させて頂けて。そんな具合で、主役の乳幼児の何倍もの大人がいたのですが、そこは熱量高く、楽しい時間はあっという間でした。

「図書館はこうでなくっちゃ!」と思いました。どんなに良書を書架に並べても、それを手に取り「利用する人」がいてこそ、図書館は輝きます。地域の皆さまとシェアできるとは幸いです。

図書館への入口1階のエレベーター横にはベビーカー置場も有りますから、キャンパス内は、とかく

荷物の多い子連れ移動でも、心配ご無用です。地域の子育て家庭の皆さまにも愛される図書館となれたなら、きっと学生たちにも良い影響が有ることと思います。

そうでした。土曜の図書館利用は、実は卒業生が多いとか。仕事(保育現場等)で活用するために、利用し慣れた専門書や絵本・紙芝居などを狙って図書館に通う卒業生がいるとは、なんと嬉しいこと。「おやこ図書館」の活動が知れ渡ったら、各学科の卒業生も「親子で」図書館利用し始めるかもしれません。

学生のライフスタイルに添った活動拠点としての図書館。加えて、絵本を軸に地域の憩いの場となり、幸せな時間が広がったら、もっと素敵です。貴重な社会資源としての図書館を、在校生だけでなく、赤ちゃんから社会人まで、皆で共有できますように。2022年12月の小さな初めの一歩が大きく実りますように……。

